

Title	内陸アジア言語の研究 XVI 裏表紙
Author(s)	
Citation	内陸アジア言語の研究. 16
Issue Date	2001-09
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21274">https://hdl.handle.net/11094/21274</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 『内陸アジア言語の研究』執筆要項

1. 本誌は、中央アジアと中国を中心に、東は東北アジアから西は黒海沿岸にまで広がる、中央ユーラシアの諸民族が用いる様々な言語、及びその言語で書き残された古代～近代の文献資料（出土文書・碑文・宗教典籍など）を、言語学的あるいは歴史学的に扱う論文を掲載する。
2. 原稿は未発表のものに限る。ただし口頭発表したものはこの限りではない。
3. 原稿の長さは自由である。論文の場合、刷り上がり状態で 20 ページ（400 字詰め原稿用紙に換算して 50 枚）を一応の目安とする。ただし、数ページ程度の研究ノートや資料紹介の類も歓迎する。
4. 原稿は、完全原稿の形で提出されたものを、フロッピーないし電子メールの添付ファイルで受け付ける。組版は Macintosh の Adobe PageMaker-J を用いて行なう。
5. 入稿について
  - 1) Macintosh 使用の場合  
特に 30 ページを越える原稿については、経費軽減のため、Adobe PageMaker-J にて割付済みの原稿を入稿するのが最も望ましい。内陸アジア諸言語の転写に必要なフォントや、割付のスタイルを指定したテンプレート・組方規則などは、編集部から配布する。また、PageMaker 以外の Macintosh ワードプロソフトを利用する場合は、編集部に連絡されたい。
  - 2) MS-DOS, Windows 使用の場合  
各種ワードプロソフトを用いる場合、MS-DOS テキストファイル形式に変換し、フロッピーディスクで入稿するとともに、印字した完成原稿を送付すること。ワードプロにない漢字・記号などの部分は、当該箇所を空けて朱筆で指示されたい。旧字体への変更も、必ず提出稿の段階で指示されたい。本文中の註番号は、該当箇所に (1) のように通し番号を挿入する。
- 3) 以上はあくまでも原則である。不明の点は編集部にお問い合わせされたい。
6. 書式として、以下の統一方針を定める。
  - 1) A5 版横組み、奇数頁起こしとする。
  - 2) 句読点は「，．」を用い、「，。」は用いない。
  - 3) 地の文にはつとめて当用漢字・新かなづかいを用い、旧字体・旧かなづかいの使用は引用文等で必要な場合のみにとどめる。
7. 論文末尾に執筆者の所属・肩書・専攻、表題の欧米語訳、執筆者名のローマ字表記を付記すること。
8. 原稿の締切日は毎年 3 月 31 日とする。
9. 初校は著者校正とし、再校以降は原則として編集委員の責任とする。校正はあくまでも誤植の訂正にとどめ、原文の増減は認めない。
10. 抜刷は作成しない。各執筆者には本誌 10 部を献呈する。

2001 年 7 月

## 執筆者紹介

森 部 豊 (Yutaka MORIBE)

筑波大学歴史人類学系文部科学技官 東洋史学専攻

宮 紀 子 (Noriko MIYA)

京都大学人文科学研究所助手 中国語学中国文学専攻

杉 山 正 明 (Masa'aki SUGIYAMA)

京都大学大学院文学研究科教授 東洋史学専攻

亦 隣 真 (†IRINČIN)

内蒙古大学教授，中国蒙古史学会名誉理事長，中国元史研究会副会長  
モンゴル史専攻（1999年逝去）

加 藤 雄 三 (Yūzō KATO)

京都大学人文科学研究所非常勤研究員 中国法制史専攻

## 内陸アジア言語の研究 XVI

2001年8月25日 印刷

2001年9月10日 発行

責任編集 森 安 孝 夫 (大阪大学)  
吉 田 豊 (神戸市外国語大学)  
Peter Zieme (Berlin-Brandenburgische Akademie der Wissenschaften)

発 行 者 中央ユーラシア学研究会  
〒560-8532 豊中市待兼山町1-5 大阪大学文学部森安研究室内  
tel: 06-6850-5103 / fax: 06-6850-5103  
e-mail: sial@bun52.let.osaka-u.ac.jp  
<http://bun52.let.osaka-u.ac.jp/sial/>

取 扱 店 株式会社 朋 友 書 店  
〒606-8790 京都市左京区吉田神楽岡町8 tel: 075-761-1285  
e-mail: hoyubook@mbox.kyoto-inet.or.jp  
株式会社 東 方 書 店  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 tel: 03-3937-0300  
e-mail: tokyo@toho-shoten.co.jp  
〒564-0063 吹田市江坂町2-6-1 tel: 06-6337-4760  
e-mail: kansai@toho-shoten.co.jp

印 刷 所 有限会社 中部ワードサービス  
〒440-0865 豊橋市向山台町10-10 tel: 0532-55-8503  
e-mail: aaa93850@pop11.odn.ne.jp

# STUDIES ON THE INNER ASIAN LANGUAGES XVI

Y. MORIBE : Epitaphes of Three Sogdian-Chinese from the Hou-Jin Period in the  
Tenth Century

..... 1

N. MIYA : On the Details Surrounding the Publication of Cheng Fuxin's *Sishu  
zhangtu* — with Special Reference to the Civil Recommendation System  
for the Literati of the Southern Provinces under the Dai Ōn Yeke Mongol Ulus

..... 71

M. SUGIYAMA : In Memory of Professor Irinčin

..... 123

IRINČIN : New Readings of the Mongolian *lingzhi* Inscription in 'Phags-pa Script  
Engraved in 1276 A. D. at Yu-wang-miao, Longmen : Critical Comments on N.  
Poppe's Edition (tr. by Y. KATO)

..... 133

IRINČIN : A Guide to the Stylistic Characteristics of the Official Documents from  
the Yuan Period Translated Word-for-word from Mongolian (tr. by Y. KATO)

..... 155

The Society of Central Eurasian Studies